

函館市観光基本計画 中間評価について

1 中間評価の趣旨

「函館市観光基本計画2014－2023」が策定より5年間が経過したため、進捗状況を把握し、目標値の達成状況やこれまで実施してきた取組みに対する評価を行い、今後の計画期間における方向性に対する観光アドバイザー委員の意見を取りまとめる。

取りまとめた意見については、本計画の目標値の達成状況や「施策および具体的取組み」の進捗状況の評価と合わせ、「中間評価報告書」として作成・公表する。

※参考：函館市観光基本計画2014－2023より抜粋

第1章 計画策定の趣旨

3 計画期間

本計画の期間は、平成26年度から平成35年度までの10年間とします。

計画策定後は、進捗状況の管理に努めるとともに、5年後に中間評価を行い、必要に応じて計画内容の見直しを行うこととします。

第3章 計画の基本方針

4 目標値の設定

(中略)なお、観光入込客数については、災害や経済危機などの外部要因に大きく左右されることから、状況によっては、5年後の中間評価の際に、目標値の見直しを検討することとします。

第4章 施策

1 施策設定の基本的考え

各施策を構成する具体的取組みは、今後の観光を取り巻く社会情勢の変化を見ながら、本市を中心に、関係団体・関係機関と調整しつつ、柔軟かつ効果的に実施します。特に、市民参画が可能なものについては、積極的に市民との協働を図ります。

10か年の計画期間において、「前期」はおおむね前期5年以内、「後期」はおおむね後期5年以内、「通期」は計画期間を通して実施します。

なお、5年が経過した段階において中間評価を実施し、進捗状況や方向性などについて見直しを行います。

2 目標値の達成状況

本計画では、平成35年度（2023年度）を目標年次に目標値を設定したところであり、各目標値の達成状況は以下のとおりとなっている。

① 観光入込客数の底上げ

目標値 H35(2023)年度	達成状況 H28(2016)年度	現状 H30(2018)年度	目標値達成状況
550万人	560万人	526万人	目標値達成

② 平均宿泊数の増加を目指す。

目標値 H35(2023)年度	達成状況 H30(2018)年度	現状 H30(2018)年度	目標値達成状況
1.28泊	1.27泊	1.27泊	目標値まで あと0.01泊増

③ 函館の印象について、「とてもよい」の回答率向上を目指す。

目標値 H35(2023)年度	達成状況 H27(2015)年度	現状 H29(2017)年度	目標値達成状況
80.0%	81.1%	65.0%	目標値達成

④ 来函外国人宿泊者数の増加を目指す。

目標値 H35(2023)年度	達成状況 H26(2014)年度	現状 H30(2018)年度	達成状況
30.0万人	34.6万人	55.1万人	目標値達成

3 「施策および具体的取り組み」の進捗状況評価

(1) 進捗状況評価実施方法

本計画に記載している19の施策を構成する全85の具体的取り組みについて、函館市の所管部局による評価を実施した。

評価は具体的取り組み毎に「廃止・変更」、「未着手」、「検討段階」、「実施段階」、「事業完了」の5区分に分類し行った。

(2) 評価実施結果

観光基本計画における具体的取り組みの進捗状況評価は下表のとおりとなっており、実施段階以上にあるものをカウントした事業進捗率は90.5%となった。

進捗状況	廃止・変更	未着手	検討段階	実施段階	事業完了	合計
数	2	2	4	65	12	85
構成比(%)	2.4%	2.4%	4.7%	76.4%	14.1%	100.0%

➡ 事業進捗率：90.5%

※各進捗状況の評価については、別紙のとおり。

函館市観光基本計画（施策および具体的取り組み）の実績および進捗状況評価

○街並み・歴史的建造物の保全・活用の推進

番号	具体的取り組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
1-1	伝統的建造物の保存・活用	歴史的に価値のある伝統的建造物等の保存および活用	通期	・伝統的建造物群保存地区保存事業として、「金森倉庫1号」などの7件の修理に補助。 ・指定建造物等活用支援事業として「和雑貨いろは」など3件の改修に補助。	実施段階	・終期が定まっていないため、今後も引き続き継続していく。	都市建設部
1-2	都市景観の形成に関する各種助成制度の利用促進	景観形成指定建築物等の保全や都市景観の形成に関する各種助成制度の利用促進	通期	・景観形成指定建築物等保全事業として「高龍寺本堂」など5件の修理に補助。	実施段階	・終期が定まっていないため、今後も引き続き継続していく。	都市建設部

○新たな観光資源の創出

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
2-1	さらなる観光資源の創出と活用	歴史、文化、自然など、埋没している観光資源の掘り起しと活用	通期	・新たなブランドイメージの確立に向けて、恋人たちをテーマとしたPR動画である「はじまる、恋。函館」をウェブ公開するとともに、国内外6ヶ国でのYouTube広告の展開により、情報の拡散とブランドイメージの醸成に努めたほか、各種旅行商談会や観光誘客イベントにおいてポスター展示や動画放映による情報発信を行った。 ・市内および近郊で開催される各種イベント自体が、誘客手段となるよう、フェスティバルタウンはこだて「函館イベントガイド」ウェブページを開設し、市内および近郊で開催されるイベントを「グルメ」、「体験」、「歴史」などテーマ別に体系化して紹介した。 ・フェスティバルタウンの浸透やウェブページの普及を促進するためのポスターおよびチラシを作成し、市内宿泊施設、交通事業者、飲食店等に配付したほか、各種プロモーションにも活用した。	実施段階	・終期末定。当面の間は継続	観光部
2-2	既存観光資源等の再整備の推進	既存の観光資源やその周辺など、雰囲気、景観、歴史などを生かし、さらなる魅力向上を図るための再整備の推進	通期	・観光説明板の整備実施に向けて平成31年度の予算措置を行った。	検討段階	・平成31年度に盤面の貼り替えに合わせ、QRコードを活用した多言語化整備を行う。	観光部
2-3	グリーンプラザや市道広小路の整備	駅前通との連続性を考慮しつつ、観光名所・イベント機能も兼ね備えたにぎわい交流空間としての整備	前期	・整備の実施時期については未定であるが、函館を訪れる海外からの観光客に新たな夜間観光を提案し、観光客の満足度を高めるとともに、夜間の中心市街地の賑わい創出と消費喚起を目的に、地域住民と外国人観光客が楽しめる日本の文化体験イベントを実証実験として実施。 【はこだて夜祭りinグリーンプラザ】 ・開催期 H30. 8. 15～8. 17 ・開催場所 はこだてグリーンプラザBブロック ・来場者数 5,808人（のべ）うち外国人観光客数870名	実施段階	・継続	経済部
2-4	はこだておもしろ館の整備	函館駅前若松地区第一種市街地再開発ビル内に、広く市民や観光客が様々な分野の情報等をバーチャル体験し、交流できる施設を整備	前期	－ ※キラリス函館3階に「はこだてみらい館」をオープン(H28. 10. 15)	事業完了	・平成28年度	経済部
2-5	函館駅に隣接した新たな観光施設の整備	函館駅前におけるにぎわい創出のため、菓子の製造過程が見学できる工場や飲食・物販スペース、さらには市民や観光客が自由に集える公園を整備	前期	・平成29年度には、函館市と事業者、北海道旅客鉄道株式会社と事業者において、それぞれ事業用定期借地権設定契約に関する覚書を締結し、工事を着工した。 ※平成28年度に実施した再公募の結果、概要に記載されている内容からホテル棟と商業棟による土地活用に変更。	実施段階	・令和元年（2019年）12月にホテルと店舗からなる複合商業施設オープン予定	企画部

○アートディレクション機能の充実

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
3-1	函館ロゴマークの活用	ポスター、パンフレット、グッズ、ホームページ、各種事業など、多方面にわたる函館ロゴマークの活用推進	通期	・使用申請のあった農水産物、加工商品、企業の名刺等のほか、新たに作成した各種観光ポスターやパンフレット等へも掲載し、本ロゴマークの活用推進を図った。	実施段階	・本計画終了時まで引き続き活用促進に努める。	観光部
3-2	視覚的にわかりやすい案内板・標識の整備	ピクトグラムなど、ユニバーサルデザインに基づいた観光案内板および観光標識の整備	後期	・観光標識等の清掃による美化（誘導ライン7ルート、観光説明板82基、観光案内板45基、坂説明板43基	実施段階	・今後も継続的に実施予定。 ・整備については完了しているが、案内板等の標示に変更があるため、次年度以降に修繕予定。	観光部、土木部
3-3	観光情報の総合的な調整	プロモーションに用いる各種宣材のビジュアルイメージを総合的に調整する機能の検討	通期	・新たなブランドイメージの確立に向けて、恋人たちをテーマとしたPR動画である「はじまる、恋。函館」をウェブ公開するとともに、国内外6ヶ国でのYouTube広告の展開により、情報の拡散とブランドイメージの醸成に努めたほか、各種旅行商談会や観光誘客イベントにおいてポスター展示や動画放映による情報発信を行った。 ・市内および近郊で開催される各種イベント自体が、誘客手段となるよう、フェスティバルタウンはこだて「函館イベントガイド」ウェブページを開設し、市内および近郊で開催されるイベントを「グルメ」、「体験」、「歴史」などテーマ別に体系化して紹介した。 ・フェスティバルタウンの浸透やウェブページの普及を促進するためのポスターおよびチラシを作成し、市内宿泊施設、交通事業者、飲食店等に配付したほか、各種プロモーションにも活用した。 ・「冬に恋。函館」というテーマのもと、冬季イベントや食などを一体的にPRすることで、冬の函館のイメージ付けを行った。	実施段階	・「冬に恋。函館」：当初は令和元年度（2019年度）までの実施を想定しているが、当該年度の実施状況等を勘案し継続するかを検討したい。 ・その他：終期末定。当面の間は継続	観光部
3-4	美しいまちづくりの推進	都市空間の形成に関連する施策を実施する際に、美しいまちづくり検討会委員から意見を聴取し、美しいまちづくりを推進	通期	— ※ 当検討会委員の任期である平成27年8月30日をもって廃止	廃止・変更	・美しいまちづくりを推進していくための景観誘導については、現行の景観アドバイザー制度、都市景観審議会などを活用することによって、実効性が確保できるため	都市建設部
3-5	景観アドバイザーによる景観誘導のための技術的支援	建築物等の新築や屋外広告物の表示の際に助言を行うなど、良好な都市景観の形成を図るための景観アドバイザーによる技術的支援	通期	・景観アドバイザー制度の利用実績、民間9件、公共5件。 ・事前協議における助言、1件。	実施段階	・終期が定まっていないため、今後も引き続き継続していく。	都市建設部

○観光メニューの充実

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
4-1	ニューツーリズムの推進	本市ならではの体験型観光、産業観光、食、学び、癒し、医療、遊び、景観などを生かした、市民も観光客も共に楽しめるニューツーリズムの推進	通期	<ul style="list-style-type: none"> 「Goo-Route Hakodate」で体験メニューなどを紹介するとともに、従来のコースのほか、秋田津軽エリアのコースを構築するなど、内容の充実を図った。 関係団体との連携によるサイクルツーリズムの検証を行った。 各国の旅行会社・メディアを招請し、本市の体験観光メニュー（寿司づくり、レザー作りなど）を紹介した。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> 「Goo-Route Hakodate」、サイクルツーリズム：終期未定。当面の間は継続 各国の旅行会社・メディア招請：今後も継続 	観光部
4-2	外国人観光客向けの観光メニューの作成	縄文文化交流センター、アイヌ文化、道の駅、漁村集落、恵山、温泉などの多様な観光資源を活用した、外国人観光客の誘致を目的とした観光メニューの作成	前期	<ul style="list-style-type: none"> ニセコで働く外国人を招請し、縄文文化交流センター、大船遺跡を紹介した。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続 	観光部
4-3	まちあるき観光の充実	既存のまちあるきイベント「てくてくはこだて」を基本とした、まちあるき観光メニューの充実	前期	<ul style="list-style-type: none"> これまでに作成したまちあるきマップ26コースを増刷し、引き続き配布した。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> 終期未定。当面の間は継続 	観光部
4-4	修学旅行向け体験メニューの充実	体験メニューの提供施設などと連携した、修学旅行向け体験メニューの充実	前期	<ul style="list-style-type: none"> 北斗市、七飯町、渡島総合振興局と協力し、函館圏での体験メニューの充実を図った。 平成23年から作成している「Goo-Route Hakodate」を教育旅行向けに特化させた「教育旅行版Goo-Route」を作成した。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> 当面継続 	観光部
4-5	夜の観光メニューづくり	気軽に飲み歩きができるなど、市民と観光客のふれあいが生まれる観光メニューづくり	通期	<ul style="list-style-type: none"> 民間主体の取り組みとして、西部地区バル街をはじめ、大門バルや五稜郭バルなど参加者の交流が深まる飲み歩きイベントが好評を得ている。 夜間観光消費の促進策について検討を進めた。 	未着手	<ul style="list-style-type: none"> 未定。当面の間は継続 	観光部

○広域連携の推進

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
5-1	広域観光コンテンツの磨き上げ	道南や東北など近隣地域と連携した広域的視点による周遊型観光コンテンツの磨き上げ	前期	<ul style="list-style-type: none"> 北海道新幹線新駅沿線協議会が発行する「はこだて旅するパスポート」の改訂版の発行。 青函圏観光都市会議にて、「青函圏周遊ぐっとくる旅」改訂版・多言語版の発行。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> （協議会の解散時期などは）終期未定。当面継続。（平成30年度版の印刷物は発行済） 	観光部
5-2	広域連携による観光メニューの充実	道南や東北など近隣地域の多種多様な観光メニューを組み合わせた広域観光メニューの充実	通期	<ul style="list-style-type: none"> 青函圏みなみ北海道連絡会議の枠組みを活かし、Webを利用した一元的な魅力発信。 「Goo-Route Hakodate」で体験メニューなどを紹介するとともに、従来のコースのほか、秋田津軽エリアのコースを構築するなど、内容の充実を図った。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> 青函圏みなみ北海道連絡会議：当面継続 「Goo-Route Hakodate」：終期未定。当面の間は継続 	観光部

○秋冬の魅力の向上や発信

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
6-1	秋冬の魅力の発掘と発信	外部専門家あるいは、道外住民、異なる国や地域の外国人をモニターとした秋冬の魅力の発掘と、雪への憧れや興味の強い東南アジア諸国など、誘致効果の高い国や地域へ向けた情報の発信	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・秋冬のイベントに関しては、それぞれの実行委員会等のホームページにおいてPRしたほか、市観光情報サイトでの情報発信や地方紙などへ掲載するなど様々な形で情報発信を行った。 ・北海道観光振興機構主催の商談会等において旅行代理店を中心とした参加者に対し情報発信を行った。 ・首都圏などで開催された各種イベントに出店し、来場者に対してプロモーションを行った。 【函館市】 <ul style="list-style-type: none"> ・中国ライブ配信事業（9月，1月） ・中国ブロガー招請（10月，12月） ・中国動画配信事業（2月） ・香港メディア関係者招請（1月） 【函館市海外観光客誘致促進協議会（函館市，函館商工会議所ほか）】 <ul style="list-style-type: none"> ・中国旅行会社招請（9月） ・韓国旅行会社招請（9月） ・ニセコで働く外国人を招請してモニターツアーを行い，参加者にSNSで情報発信してもらおうとともに，アンケートを実施。（10月） ・シンガポールメディア招請（11月，12月） ・中国映画関係者招請（12月） ・台湾・香港旅行会社・メディア招請（12月） ・中国航空会社招請（12月） ・タイ・インドネシア旅行会社・メディア招請（1月） 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント，商談会，プロモーション：当面継続 ・海外事業，函館市海外観光客誘致促進協議会：今後も継続 	観光部
6-2	秋冬のイベントの見直し	秋冬の一層の観光客誘致や滞在日数の増加を図るため、秋冬に開催される既存イベントの見直し	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体との連携により、「光」をテーマとした新イベント「ひかりのガーデン」を試験的に開催し，冬季のにぎわいづくりを図った。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き既存イベントの見直しと新たなイベントの創出についての検討を並行して進める。 	観光部

○魅力ある食・土産品の創造および周知

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
7-1	(仮称) 函館観光物産館の整備検討	首都圏において函館の食と観光情報を継続的に発信する拠点整備の検討	前期	・アンテナショップ2号店「ローソン世田谷奥沢五丁目店」オープン（平成30年9月26日）。2店体制で食と観光の魅力を発信。	廃止・変更	・アンテナショップ事業：継続	経済部
7-2	函館朝市ひろば（旧渡島ドーム）を中心とした朝市における食の発信	市民と観光客の交流拠点として新たに整備した函館朝市ひろば（旧渡島ドーム）を中心とした朝市における地域産品や魅力ある食の発信	通期	・「函館朝市&函館駅前大門」地域連携フェア（スタンプラリー）および「光の夜市」の開催を支援し、市民客・観光客に幅広く函館朝市の魅力をPRすることに成功した。	実施段階	・継続	経済部
7-3	G-site（五稜郭グルメ村）の整備	地域コミュニティ施設と一体となった新たな飲食モールの整備	前期	— ※平成27年10月五稜郭ガーデンオープン	事業完了	・平成27年度	経済部
7-4	観光物産展の開催および参加	国内外の誘致・宣伝効果が期待できる市場における観光物産展の開催および参加	通期	【函館市】 ・北海道物産展 百貨店30ヶ所で開催 ・青函物産展 百貨店 2ヶ所で開催 ・遠東百貨 函館物産展（台湾）開催 ・大連北前船寄港地フォーラム併催商談会（5月） ・韓国ハナツアー旅行博（6月） ・マレーシア旅行博MATTA（9月） ・北京・上海BtoB商談会（10月） ・タイFITフェア（11月） ・台北国際旅行博ITF（11月） 【函館市海外観光客誘致促進協議会（函館市，函館商工会議所ほか）】 ・香港BtoB商談会 ・北東北三県・北海道ソウル事務所商談会（7月） ・香港ブックフェア（7月） ・インドネシアAEONモールイベント（9月） ・インドネシアBtoB説明会（11月） ・北海道訪日教育旅行説明会・商談会in台中（1月）	実施段階	・国内の物産展開催：継続 ・遠東百貨：平成31年度休止 ・海外関係：今後も継続	経済部，観光部
7-5	食と観光をテーマとしたイベントの開催	地域ならではの食と観光のPRを目的としたイベントの開催	通期	・「はこだてFOODフェスタ2019」の開催 ・はこだてグルメサーカス2018（中止），はこだておいしいフェスタ，はこだてFOODフェスタ，函館マラソンおもてなしフェスタへ出店し，函館ならではの農水産物をPR。 ・ごちそうマルシェ（札幌），食旅フェスタin仙台，ふるさと祭り東京2018等へ出店し，本市の観光資源である「食」を活用したPRを行った。 ・はこだてグルメサーカス2018を開催する予定であったが，北海道胆振東部地震やそれに伴う全市的な停電の影響により中止とした。	実施段階	・FOODフェスタ：当面の間継続 ・イベント出店：当面の間は継続 ・グルメサーカス：終期未定。当面の間は継続 ・農水産物PR：平成31年3月事業完了	経済部，観光部，農林水産部
7-6	幅広い食の周知	市民に支持されている隠れた飲食店や料理など幅広い食の周知	通期	・函館フェアの開催（6回，のべ313店舗） ・Webサイト「おいしい函館」の運営 ・地域メニュー「焼きピロシキ」および「はこだてチャウダー」の支援（広報，イベント共催など） ・地場産農水産物あるいは広く魚介類，青果の周知と消費拡大を目的とした料理教室，料理コンテストの開催（函館農水産物ブランド推進協議会，水産物地方卸売魚食普及対策協議会，および青果物地方卸売市場活性化対策委員会がそれぞれ主催）（3団体：延べ17回開催） ・函館ならではの料理等の周知・広報（料理教室で作ったレシピを市のHPに掲載）	実施段階	・函館フェア：継続 ・Webサイト：継続 ・地域メニュー支援：継続 ・料理等の周知・広報：平成31年3月事業完了	経済部，観光部，農林水産部
7-7	食・土産品創造の促進	函館ならではの魅力ある食・土産品創造の促進	通期	・生産者のこだわりの込められた，クオリティの高い鮮魚，野菜等の首都圏百貨店等への販路開拓支援（グリーンアスパラ「海の神」など） ・生産量日本一を誇る真昆布の名称を函館真昆布に統一し，知名度・認知度向上に向けたPRの実施。 ・収益性の高い酒造好適米（吟風）を使用した日本酒（巴桜）のPRの実施。	事業完了	・土産品の創造：平成28年度 ・販路開拓支援，函館真昆布，日本酒PR：平成31年3月	観光部，経済部，農林水産部

○市民主体の歓迎

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
8-1	市民と観光客の交流機会の創出促進	市民活動や各種イベントなどを通じた市民と観光客の交流機会の創出促進	通期	・はこだてグルメサーカス2018を開催する予定であったが、北海道胆振東部地震やそれに伴う全市的な停電の影響により中止とした。 ・関係団体との連携により、「光」をテーマとした新イベント「ひかりのガーデン」を試験的に開催し、多くの市民や観光客でにぎわいを見せた。	実施段階	・終期末定。当面の間は継続	観光部
8-2	歓送迎イベントの実施	クルーズ客船の寄港時や、北海道新幹線開業時における市民参加による歓迎イベントの実施	通期	・クルーズ客船寄港時歓迎見送りイベント（13回）	実施段階	・新幹線イベント：平成29年3月完了 ・クルーズ客船イベント：終期末定	企画部，港湾空港部
8-3	道路緑化活動の実施	歓迎ムードを盛り上げることを目的とした、官民一体での沿道の植樹ますの花植えや維持管理の実施	通期	・沿道花いっぱい運動（町会等団体：48団体 路線：26路線）	事業完了	・今後も継続する	土木部
8-4	環境美化に関する活動の推進	ボランティア制度を活用した簡易清掃や貼り紙の除去など、きれいな街並みの維持に関する活動の推進	通期	・観光地等の清掃（「クリーングリーン作戦」春193団体，秋200団体が参加）など。	事業完了	・「春のクリーン・グリーン作戦」 期間4月1日（日）～4月30日（月） ・「秋のクリーン作戦」 期間10月1日（月）～10月31日（水）	環境部

○ホスピタリティ意識の醸成および顕在化

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
9-1	接客研修等の充実	観光関連従事者を対象とした、時代のニーズに対応した接客研修等の充実をはじめ、国・地域別の外国人旅行者ニーズに対応した各種研修等の充実	通期	○インバウンドセミナーの実施 ・EGLツアーズ社長によるおもてなし講演会 ・在日中国人インフルエンサーによるセミナー・意見交換会	実施段階	・今後も継続	観光部
9-2	国際交流の支援	国際交流関係事業への支援や小学生などを対象とした国際理解教育の推進	通期前期	・国際交流事業活動補助金（シンガポール政府観光局「ツーリズム・アワード」受賞者との交流事業など11件）	実施段階	・国際交流事業活動補助金：毎年度実施 ・中学生海外派遣事業：平成30年3月31日事業完了	企画部，教育委員会
9-3	まちあるき休憩ベンチの設置	まちあるき観光の利便性向上のほか、市民と観光客のふれあいの場となる「まちあるき休憩ベンチ」の設置	前期	・平成26年度において当面，事業は完了している。	事業完了	・平成26年度事業完了	観光部
9-4	だれでも利用できる施設への改善	観光関連施設を対象とした段差の解消、スロープや手すりの設置、点字表記などの促進	通期	・緊急を要する改善箇所は見当たらない。	未着手	・今後，緊急に整備等が必要な箇所があると認められた場合，対応を検討する。	観光部
9-5	市民および観光事業者の意識啓発	講演会や市の広報紙などを通じた市民および観光事業者へのホスピタリティ意識向上の取り組み	通期	○インバウンドセミナーの実施 ・EGLツアーズ社長によるおもてなし講演会 ・在日中国人インフルエンサーによるセミナー・意見交換会	実施段階	・今後も継続	観光部
9-6	観光客の安全・安心を守る体制の整備	災害等の非常時に、国内外の観光客の安全・安心を確保するための関係機関との協力体制および必要な方策の確立	前期	・平成28年度において当面，体制の整備は完了している。	事業完了	・平成28年度事業完了 ※今後も災害等の非常時を想定し，効果的な協力体制の検討を必要に応じて行っていく。	観光部

○人材の育成

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
10-1	観光ボランティア団体の活動促進	新たなボランティアとの連携、観光ボランティア団体への助成、研修支援などによるボランティア活動の促進	通期	・観光ボランティアガイド育成事業において、各団体を講師として招へいし、新たな観光ガイドの創出を図った。	実施段階	・本計画終了時まで引き続き観光ボランティアガイドの育成等、活動促進に努める。	観光部
10-2	「函館歴史文化観光検定」の普及・検定合格者の活躍促進	多様な媒体を通じた「函館歴史文化観光検定」（はこだて検定）の普及および検定合格者の観光関連事業への参画、活躍の場の提供	通期	・平成30年度新規採用職員研修の講師として上級合格者を招き、活躍の場の提供に努めた。 ・また、本検定の実施団体である函館商工会議所に対し、上級合格者活用支援事業への協力を実施し、受講者の増や上級合格者支援に係る取組みを行った。	実施段階	・本計画終了時まで引き続き本検定の普及等に努める。	観光部
10-3	有償観光ガイドの育成	観光客の満足度をより一層高めるため、各種ガイドのプロ化実現を目指した有償観光ガイドの育成	後期	・ボランティアに特化せず、観光ガイドの創出と育成を図る支援事業を行った。	実施段階	・本計画終了時まで引き続き観光ガイドの育成等に努める。	観光部
10-4	通訳ガイドの育成	外国人観光客へのきめ細やかな対応が可能な通訳ガイドの育成	前期	—	実施段階	・未定	観光部

○市内における観光情報の充実

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
11-1	多言語表記・対応の充実	観光情報の多言語表記や、函館市公式観光情報サイト「はこぶら」内の外国語サイトの充実、観光案内所における多言語、多文化への対応	前期	・観光説明板の整備実施に向けて平成31年度の予算措置を行った。 ・外国人観光コンタクトセンターの運営により外国人観光客の観光情報等の問い合わせに対し、電話、メール、SNS等により対応し、受入環境の充実化を図った。	実施段階	・観光説明版：平成31年度に盤面の貼り替えに合わせ、QRコードを活用した多言語化整備を行う。 ・外国人コンタクトセンター：今後も継続	観光部
11-2	カード利用可能情報の提供	国内外で発行されている電子マネーやクレジットカードが利用可能な施設やATM情報などの提供	前期	・平成29年度に引き続き、「はこぶら」において日本円を引き出すことができるATMの情報を提供。 ・新設された外貨両替機についても「はこぶら」において情報を提供。	実施段階	・今後も継続	観光部
11-3	テーマ別観光情報の発信	秋冬観光、滞在観光、国・地域別、観光客、ビジネス客、富裕層、高齢世代などテーマ別の観光情報発信の充実	通期	・「はこぶら」において、夜景、美味、街歩きのほか、桜やクリスマス等季節感のあるテーマを設定し発信した。 ・市内および近郊で開催される各種イベント自体が、誘客手段となるよう、フェスティバルタウンはこだて「函館イベントガイド」ウェブページを開設し、市内および近郊で開催されるイベントを「グルメ」、「体験」、「歴史」などテーマ別に体系化して紹介した。	実施段階	・「はこぶら」：当面継続 ・「函館イベントガイド」：終期末定。当面の間は継続	観光部
11-4	Wi-Fiの推進	交通拠点、観光施設、商業施設などのWi-Fi利用環境の整備と利用可能箇所の情報提供	前期	・災害モードの表示言語数の拡大 ・函館総合福祉センターへ「HAKODATE FREE WI-FI」を設置。	実施段階	・今後も継続 ・他部局との連携が必要のため未着手	観光部、教育委員会
11-5	観光情報の提供場所の拡大	観光情報を入手できる場所の拡大	前期	・五稜郭タワーにおいてGW期間等に臨時観光案内窓口を開設し、観光情報を提供した。	実施段階	・今後も継続的に実施予定。	観光部
11-6	(仮称)観光センターの整備検討	函館観光のワンストップサービス機能を持った拠点施設の整備について検討	前期	・旅行形態の多様化やインバウンド増加に伴い、観光の拠点施設に求められる役割・機能が多様化していること、また、観光地域づくりにおいて日本版DMOが主流になるなど、地域の官民の関係者との役割分担の在り方が大きく変化していることから、これらを踏まえた効果的な観光拠点施設の整備について検討した。	検討段階	・引き続き、地域の官民の関係者との役割分担の在り方などを踏まえて、効果的な施設整備について検討を重ねていく。	観光部
11-7	函館市まちかど観光案内所の充実	函館市まちかど観光案内所の周知と機能の拡大	前期	—	実施段階	・今後も継続的に実施予定。	観光部
11-8	バス、路面電車における観光情報の提供	バス・路面電車の停留所における観光情報の発信および車内でのアナウンスを通じた観光情報の提供	前期	・市電車内ディスプレイで函館国際観光コンベンション協会等と協同で観光情報を提供した。 ・車内放送で主要停留場（五稜郭公園前、函館駅前・十字街等）においては、現行の英語に加え中国語を追加し多種多様化する観光客に対応した。 ・北海道新幹線開業に伴い平成28年4月より開始された、函館バス株式会社の運行する五稜郭タワー・トラピスチヌシャトルバス車内における音声案内サービスが継続されている。	実施段階	・音声案内サービス：平成28年4月完了 ・市電車内観光情報提供、車内放送：引き続きわかりやすい表記をしていくとともに、多様化する多言語化への対応も検討していく。	企画部、企業局交通部

○多様な媒体を通じた情報の発信

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
12-1	電子媒体を通じた情報発信	「はこぶら」スマートフォン用サイトや「観光等案内情報端末」の運用など電子媒体による情報発信の充実	前期	<ul style="list-style-type: none"> 観光等案内情報端末およびアプリについて、函館市の公式サイトである「函館イベントガイド」と情報連携し、イベント情報を充実した。また、市内主要施設に設置したPRチラシについて、在庫が不足している施設へ補充を行うなど、利用促進のための取組を継続した。 Webサイト「おいしい函館」の運営 フェスティバルタウンはこだて「函館イベントガイド」ウェブページの情報発信に当たり、QRコード付きのチラシやポスターを作成し、ウェブページへの誘導および利用促進を図った。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> 「おいしい函館」：継続 「函館イベントガイド」：終期末定。随時実施 	経済部，観光部
12-2	紙媒体を通じた情報発信	新聞、雑誌など紙媒体への情報発信の充実	通期	<ul style="list-style-type: none"> 民間出版社等が発行した各種紙媒体へのイベント等の記事を掲載するなど、函館の魅力発信と来函の促進を促した。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> 当面継続 未定。随時実施 	観光部
12-3	放送媒体を通じた情報発信	テレビ、ラジオなど放送媒体への情報発信の充実	通期	<ul style="list-style-type: none"> 市内FM放送やケーブルテレビ等を通じたイベント開催情報や当日の様態などの発信のほか、道内テレビや、首都圏で開催されたイベントへ参加し、取材に来たメディアへの露出などによる情報発信を行った。 はこだてグルメサーカスの開催にあたり、道内主要テレビ局をはじめ、市内FM放送や新聞社等への出演・取材対応をし、メディアへの露出および情報発信を行った。※イベント自体は北海道胆振東部地震やそれに伴う全市的な停電の影響により中止とした。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> 市内FM放送，テレビ，首都圏イベント等による情報発信：当面継続 はこだてグルメサーカスPR：未定。随時実施 	観光部
12-4	宿泊施設を通じた情報発信	滞在客や再来訪客などタイプ別観光客のニーズを想定した宿泊施設による情報発信の充実	通期	<ul style="list-style-type: none"> 市内宿泊施設に観光パンフレット等の設置を依頼し、宿泊客への情報提供を行った。 市内および近郊で開催される各種イベントの効果的な周知を図るため、フェスティバルタウンはこだて「函館イベントガイド」ウェブページを開設するとともに、ウェブページに関するQRコード付きチラシやポスターを作成し、市内宿泊施設に設置を依頼し、宿泊客への情報提供を行った。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設へのパンフレット等設置：当面継続 「函館イベントガイド」関連：未定。当面の間は継続 	観光部

○交通アクセス環境の整備

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
13-1	高速交通ネットワークの整備促進	新函館北斗駅および函館空港にアクセスする函館新外環状道路など高速交通ネットワークの整備促進	通期	<ul style="list-style-type: none"> 函館新外環状道路 赤川IC～函館空港IC(2020年度開通予定), 函館江差自動車道 北斗茂辺地IC～木古内IC(仮称)(2021年度開通予定), 北海道縦貫自動車道 大沼公園IC～七飯IC(仮称)(開通未定), 国道278号尾札部道路 豊崎～大船間(開通未定)の工事を継続して実施。(函館開発建設部) 国等に対し, 上記路線ほか関係路線の整備促進等にかかる要望活動を実施。(道路期成会) 	実施段階	<p><完了予定時期></p> <ul style="list-style-type: none"> 函館新外環状道路 赤川IC～函館空港IC: 令和2年度(2020年度) 函館江差自動車道 北斗茂辺地IC～木古内IC(仮称): 令和3年度(2021年度) 北海道縦貫自動車道 大沼公園IC～七飯IC(仮称): 未定 国道278号尾札部道路 豊崎～大船間: 未定 <p>・国等に対し, 上記路線ほか関係路線の整備促進等にかかる要望活動: 事業完了まで継続</p>	土木部
13-2	駐車場情報の提供	自家用車やレンタカー利用者に対する駐車場情報の提供	通期	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の状況に合わせて駐車場利用促進のチラシをリニューアルし, 配布等を実施した。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> 今後も駐車状況や渋滞状況を確認しながら, チラシのリニューアルや効果的な渋滞緩和対策を関係企業や団体等と協議し, 実施継続していく。 	観光部
13-3	バスの利便性の向上	バス路線網の再編や停留所上屋の整備および利用しやすい料金体系の導入検討	後期	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年3月, 路線網の再編実施計画を策定した。 	検討段階	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年(2021年)より路線網の再編を実施予定。 	企画部
13-4	路面電車の利便性の向上	ICカード導入や均一料金制導入の検討のほか, デザイン性が高く利用しやすい電停の整備	後期	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年3月に導入された, 全国相互利用可能な交通系ICカード「ICAS nimoca(イカサニモカ)」によるサービスが継続されている。 	事業完了	<ul style="list-style-type: none"> 「ICAS nimoca」導入: 平成30年3月完了 ○電車停留場改築 ・函館駅前: 平成26年度 ・五稜郭公園前: 平成27年度 ・中央病院前: 平成28年度 ・松風町, 千代台: 平成29年度 	企画部, 経済部
13-5	タクシーの利便性の向上	乗り合いタクシーや定額タクシーなど, 観光客にとって利用しやすい運行形態および料金の検討	前期	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月の北海道新幹線開業に伴い導入された, 新函館北斗駅と函館市内各エリア間における定額タクシーの運行が継続されている。 	事業完了	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月完了 	企画部

○空港・港湾機能の充実

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
14-1	国際航空路線の拡充促進	新規路線の開設促進やチャーター便の運航拡大、新たな航空会社の参入促進など国際航空路線の拡充促進	通年	・函館空港国際航空便就航促進事業補助金交付 アジアナ航空 (チャーター便) 4回 計 255,180円	実施段階	・未定	観光部, 港湾空港部
14-2	国内航空路線の拡充促進	新規路線の開設促進、既存路線の充実、休止路線の再開促進、新たな航空会社の参入促進など国内航空路線の拡充促進	通年	・函館空港新規国内定期便就航促進事業助成金交付 成田～函館線着陸料分 365回 計 7,491,078円 (内, 市負担分 3,750,000円) ※平成30年度交付決定額	事業完了	・平成31年3月31日	港湾空港部
14-3	大型旅客船ふ頭の整備推進	観光客と市民の交流拠点、賑わいと魅力ある港湾空間となるような大型旅客船ふ頭の整備促進(若松地区)	後期	・総延長360mのうち225mが完成し, 平成30年10月2日に暫定供用を開始した。	実施段階	・平成30年代前半完了予定	港湾空港部
14-4	親水空間の整備推進	港や海に接することができる港湾空間の整備および歴史的港湾施設の保存修復(末広地区の整備検討)	後期	・末広地区での緑地整備(老朽化した護岸の改良整備を継続実施。)	実施段階	・平成32年度(2020年度)完了予定	港湾空港部
14-5	旧函館ドック跡地の整備推進	市民や観光客が「海」と「科学」にふれあうことができる、水産海洋分野の新しい形の研究施設の整備推進	前期	・市民等が研究内容を見学できる大型実験水槽や函館港を一望できる展望ロビーなどの機能を有する函館市国際水産・海洋総合研究センターを整備した。 ・弁天地区での緑地整備(函館市国際水産・海洋総合研究センターの北側)(老朽化した護岸の改良整備を継続実施。)	実施段階	・平成26年6月に函館市国際水産・海洋総合研究センターの運用開始 ・平成34年度(2022年度)完了予定(弁天地区の緑地整備)	企画部, 港湾空港部

○周遊性の向上

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
15-1	周遊チケット等の充実	はこだてチケットやはこだて旅するパスポートなど、周遊チケットの充実と継続的販売	通期	・北海道新幹線新駅沿線協議会の「はこだて旅するパスポート」を8,000部発行し, 滞在型観光を促進した。 ※H25から継続販売	実施段階	・当面継続	観光部
15-2	周遊促進イベントの実施	渡島東部の隠れた魅力を巡るスタンプラリーの実施など、周遊促進イベントの実施	後期	・観光振興事務連絡会議を開催し, 情報交換を行った。	検討段階	・自然景観や縄文遺跡群などの観光資源を活用した周遊促進策について今後検討したい。	観光部
15-3	移動支援手段の充実	電動アシスト付き自転車レンタルサービスの充実や超小型電気自動車などの新たな移動支援手段導入の検討	前期	・北海道新幹線新函館開業対策推進機構において実施していた電動レンタサイクル「はこりん」を, 当機構解散後, 民間事業者において事業を継承し, 継続的に運用している。	事業完了	・平成29年4月29日(機構解散後, 民間事業における事業開始日)	観光部

OMICE受け入れの強化

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
16-1	新たなMICE受け入れ施設の整備	函館アリーナや函館フットボールパークなど、スポーツイベント、コンベンション、会議等に対応できる新たな施設の整備・活用	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・函館アリーナでは、1,000人規模以上のコンベンションが6件開催され、6月1日に開催された「第15回2018JAIFA年次大会in函館」では、函館アリーナなどを会場に、約3,500人の参加者が訪れるなど、大規模な各種イベントや学会、スポーツ大会も数多く開催した。 併せて、函館アリーナでのコンベンション利用が図られるよう誘致活動の際には情報発信を行った。 ・函館フットボールパークにおいても、各種大会や合宿の受入を行った。 【開催実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・第91回日本港湾協会定時総会・講演会（5/21～25） ・第15回2018JAIFA年次大会in函館（6/1） ・2018年度精密工学会秋季大会学術講演会（9/5） ・第122回触媒討論会（9/26～28） ・第51回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会（9/29～9/30） ・第70回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会 第61回北海道小学校校長会教育研究函館大会（10/4～5） ・第19回日本クリニカルパス学会・学術集会（10/12～13） ・第69回日本木材学会大会（3/14～16） 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・整備活用については、引き続き検討実施する 	観光部，教育委員会
16-2	割引パスポートの充実	MICE参加者が受けられる割引対象施設の拡大や割引内容の向上など、割引パスポートの充実	前期	<p>—</p> <p>※平成29年度：文化・観光施設への入館料の割引や特典が受けられるパスポートは函館国際観光コンベンション協会において、在庫状況を見ながら作成しており、対象施設や割引内容などについて、次年度のリニューアルに向け見直しを行った。</p>	事業完了	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年5月リニューアル完了 	観光部
16-3	MICE対応窓口機能の強化	MICE主催者からの各種要望に対応できる窓口機能の充実	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション主催者の様々な要望に対し、適切な対応が行えるよう函館国際観光コンベンション協会をはじめ、観光事業者などと協力体制の確立を進め、会場等に関する情報提供をはじめ、開催補助金の交付や歓迎看板の設置、臨時観光案内窓口の開設など、会場予約・視察受入の準備段階から、開催当日まで、きめ細やかに対応している。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 	観光部
16-4	エクスカージョンの充実	縄文文化や豊かな自然景観に恵まれた渡島東部4地域などを巡るエクスカージョンコースの創出	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション主催者や参加者に対し、ニーズや季節に合わせて恵山や縄文文化交流センターなどを紹介したほか、引き続き、函館国際観光コンベンション協会や旅行会社、周辺自治体などとも協力しながら、新たなエクスカージョンコースの創出について検討を進めた。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 	観光部
16-5	宿泊施設による受入体制の強化	MICE主催者および参加者特有の様々な個別ニーズに対応できる受け入れ体制の強化促進	通期	<ul style="list-style-type: none"> ・開催前から主催者や運営事業者と協議を重ね、各々のニーズを踏まえた受入体制を構築した。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 	観光部
16-6	ユニークベニユ어의活用	函館山ロープウェイ展望台や旧函館区公会堂など、函館ならではの特別な場所・施設を活用したMICEの開催促進	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者からの問合せに対し、函館ならではの特別な場所・施設を紹介し、函館山ロープウェイ展望台や、五島軒本店などでレセプションパーティー等の開催に至った。 ・北海道観光振興機構と連携しセミナーを開催し、市内観光事業者と意見交換をし、新たなユニークベニユ어となりうる地域資源の発掘、磨き上げを行い、取りまとめた情報を掲載した小冊子を制作した。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 	観光部

○祝祭都市に向けた取組み

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
17-1	各種イベントの観光資源化	はこだて国際民俗芸術祭、函館野外劇、はこだて国際科学祭、バル街のほか各種周年事業など、函館でしか味わえない、または函館発祥のイベントの宣伝を強化	通期	<p>【はこだて国際科学祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催期間 H30.7.21～8.12（プレイベント） H30.8.18～8.26（五稜郭タワーアトリウムほか） 入場者数 約16,000人（のべ） プログラム数 33 主催 サイエンス・サポート函館 <p>【はこだて国際民俗芸術祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催期間 H30.6.10（プレイベント） H30.8.4～8.11（芸術祭「元町公園会場」ほか） 参加人員 海外民俗芸術団体 98人，国内民俗芸術団体44人，芸術祭スタッフ 160人，来場者数 約25,000人 補助金額 2,600千円（事業費 21,086千円） 後援 函館市，函館市教育委員会 <p>【はこだて西部地区バル街】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催期間 ①H30.4.22 ②H30.9.2 開催場所 函館市西部地区一円の約70店 参加人数 約4,000人（各回） 主催 函館西部地区バル街実行委員会 後援 函館市 <p>市内および近郊で開催される各種イベント自体が，誘客手段となるよう，フェスティバルタウンはこだて「函館イベントガイド」ウェブページを開設し，市内および近郊で開催されるイベントを「グルメ」，「体験」，「歴史」などテーマ別に体系化して紹介した。</p> <p>・フェスティバルタウンの浸透やウェブページの普及を促進するためのポスターおよびチラシを作成し，市内宿泊施設，交通事業者，飲食店等に配付したほか，各種プロモーションにも活用した。</p>	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> はこだて国際科学祭：事業終了時期は未定 はこだて西部地区バル街：継続 「函館イベントガイド」関係：終期未定。当面の間は継続 はこだて国際民族芸術祭：事業完了予定時期は団体の申請により検討する 	企画部，経済部，観光部，教育委員会
17-2	各種イベントの支援	各種イベントに対する支援の実施	通期	<ul style="list-style-type: none"> 当市で開催される学会・大会などに対し，コンベンション開催補助金を交付した。 各種イベント間での相互支援策の検討や課題共有等のため，「フェスティバルタウンミーティング」を開催し，市内主要イベント主催者間での情報共有，支援のあり方の検討を行った。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> コンベンション開催補助金：1件 平成31年3月31日30万円支給 フェスティバルタウンミーティング：終期未定。当面の間は継続 	観光部

○誘致宣伝活動の実施

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
18-1	国内外での誘致宣伝活動の実施	北海道新幹線開業により今後集客が期待できる首都圏・北関東・東北のほか、東南アジア地域を中心とした海外での誘致宣伝活動の実施	通期	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ドームで開催される「ふるさと祭り」においてブース出展しステージでの観光PRなどを行ったほか、さいたま市や仙台市など北海道新幹線沿線地域のイベント等にも参加し観光PRをするなど、首都圏等からの誘客促進を図った。 ・青函観光都市会議の事業として、主に首都圏在住の女性にターゲットを絞り、雑誌媒体への広告を通して誘客促進を図った。 【函館市】 ・トッププロモーション（台湾・香港、台湾、韓国） ・大連北前船寄港地フォーラム併催商談会（5月） ・韓国ハナツアー旅行博（6月） ・マレーシア旅行博MATTA（9月） ・北京・上海BtoB商談会（10月） ・タイFITフェア（11月） ・台北国際旅行博ITF（11月） ・香港メディア関係者招請（1月） ・中国デジタルプロモーション事業（通年） 【函館市海外観光客誘致促進協議会（函館市、函館商工会議所ほか）】 ・香港BtoB商談会（6月） ・北東北三県・北海道ソウル事務所商談会（7月） ・香港ブックフェア（7月） ・インドネシアAEONモールイベント（9月） ・中国旅行会社招請（9月） ・韓国旅行会社招請（9月） ・ニセコモニターツアー（10月） ・インドネシアBtoB説明会（11月） ・シンガポールメディア招請（11月、12月） ・中国映画関係者招請（12月） ・台湾・香港旅行会社・メディア招請（12月） ・中国航空会社招請（12月） ・北海道訪日教育旅行説明会・商談会in台中（1月） ・タイ・インドネシア旅行会社・メディア招請（1月） 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の誘致宣伝活動：当面継続 ・海外の誘致宣伝活動：今後とも継続 	観光部
18-2	MICEの誘致宣伝活動の実施	MICE開催予定の企業・団体への個別誘致をはじめとした積極的な誘致宣伝活動の実施	通期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンションの主催者である学会・協会などの事務局を訪問し、函館アリーナをはじめとするコンベンション施設や当市の支援内容などを紹介したほか、北海道MICE懇談会/商談会や国際MICEエキスポなどの機会を捉え、当市でのコンベンション開催を積極的にPRした。 	実施段階	・継続実施	観光部
18-3	修学旅行の誘致宣伝活動の実施	市内宿泊施設、教育・文化施設、体験施設などとの連携および近隣地域との広域連携を生かした修学旅行の誘致宣伝活動の実施	通期	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や東北地方などにおいて北海道観光振興機構主催の北海道教育旅行説明会・相談会に参加し、地元旅行会社および学校関係者にPRを実施した。 ・さいたま市との「東日本連携」を活かし、同市中学校長会の場でPRを実施したほか、同市内中学校を訪問し誘致活動を実施した。 ・関東・東北地方の中学高校を対象とし道南地域で実施された北海道教育旅行研修会に参加し、参加者の受け入れや地域のPR、意見交換を行った。 	実施段階	・当面継続	観光部
18-4	寄港および就航要請活動の実施	クルーズ船運航会社に対する寄港要請や新規航空会社等に対する就航要請活動の実施	通期	<ul style="list-style-type: none"> ・既に定期直行便が就航している台湾において、就航へのお礼や継続的な運航・送客を要請。 ・直行便が運休している中国においては、チャーター便での再開などで呼びかけを行っている。 ・函館港への寄港誘致に向けて、初めて道南の自治体と連携して、東京で「みなみ北海道クルーズセミナー」を実施した（複数の船社や船舶総代理店が参加）ほか、函館市長をトップにした在首都圏の船社訪問を行った。 	実施段階	<ul style="list-style-type: none"> ・航空会社関連：今後も継続 ・クルーズ客船誘致：未定 	観光部、港湾空港部
18-5	「はこだてフィルムコミッション」の活用	「はこだてフィルムコミッション」のおすすめロケ地などの一層の充実や、過去に撮影された映画の活用	通期	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に作成したTVアニメ「ラブライブ!サンシャイン!!」の函館ロケ地マップを継続して配布し必要に応じて増刷を行ったほか、映画「さよならくちびる」や「ダンスウィズミー」の撮影支援を行った。 ・映画「きみの鳥はうたえる」のロケ地マップを作成した。 	実施段階	・終期末定。当面の間は継続	観光部

○長期戦略形成へ向けた取り組み

番号	具体的取組み	概要	実施時期	平成30年度（2018年度）実績	進捗状況評価	進捗状況に係るコメント	所管部局
19-1	観光アンケート調査の実施	観光アンケート調査の継続実施	通期	・調査のあり方や精度向上について検討し、先進地より情報提供のあった詳細な調査手法を参考に、効果的な調査が可能となるよう見直しを図り、平成31年度予算に反映した。	実施段階	・本計画終了時まで、引き続き今後の観光施策に活用できるような調査を実施する。	観光部
19-2	外国人旅行者ニーズ調査の実施	外国人旅行者の国・地域別の魅力ある観光資源の把握やニーズの顕在化、“売り”の分析	通期	・同上	実施段階	・同上	観光部
19-3	観光客満足度調査の実施	観光客の満足した点、不満だった点に関する調査を実施	通期	・同上	実施段階	・同上	観光部
19-4	その他関連調査実施の検討	観光動向の把握に必要と思われる各種関連調査の新規実施の検討	通期	・観光動態情報を取得するため、新たにビッグデータを活用した調査の仕組みづくりを検討し、平成31年度予算に反映した。	実施段階	・本計画終了時まで引き続き検討を行う。	観光部
19-5	観光アドバイザー会議の設置	有識者、観光関連事業者等で構成される観光アドバイザー会議による進捗状況の管理	通期	・観光アドバイザー会議を2回開催し、2019年度主な観光施策の報告や委員と市との観光関連施策に対する意見交換を実施し、本計画の進捗状況の管理に努めた。	実施段階	・平成31年度は本会議で情報共有したポスト新幹線時代における函館観光の課題を踏まえ、本計画の中間評価を行うとともに、必要に応じ計画内容の見直しを行う。	観光部